

★ 西尾寺津教室から “ 初出場にて ” ★

＼＼ 技術賞受賞！ ／／

今年の全国大会には25名（テーマパフォーマンス・タイムアタックレース計）の精鋭が予選を突破し、そのうちタイムアタックレース部門に西尾寺津教室の土谷亘君が出場しました。

タイムアタックレース14名中3名は「初出場教室」からの参加でした。

西尾寺津教室もこの「初出場教室」のひとつとして挑戦しました。

当日にコースが発表される形式だったため、ある程度の準備と想定をして臨んだものの、試走では一度も完走できないまま本番を迎えました。

初出場で不安も大きく、心細さを感じる場面もありましたが、土谷君は試走後、自身の走行動画を繰り返し見返し、短い時間で原因を分析し改善点をまとめる作業に集中しました。

その冷静な取り組みが功を奏し、見事に立て直し、《技術賞》を受賞するという快挙へとつながりました。

土谷君は西尾寺津教室の第1期生であり、2016年9月に入塾。

2025年11月時点で通塾10年目に突入し、現在も継続中です。

12月には全コースを修了し卒業予定です。

■ 土谷君の授業での様子

- ・授業内容をもれなく吸収し、普段の積み重ねが大会でも活きた。
- ・「なぜ？」「どうして？」を妥協せず、自分で調べ深掘りする姿勢が強かった。
- ・テキスト以上の知識を自ら補い、電子回路や制御の理解が非常に深かった。

■ 勝因

- ・スタックなど不測の事態に対応できるよう、事前にプログラムを組み込んでいた。
- ・ハード（ロボット本体）とソフト（プログラム）の両面を強化していた。
- ・審査委員長 古田貴之先生からも「すげー！」と絶賛された高い技術力。

■ 今後に向けて

土谷君は今後、教室の特別講師（技術サポーター）として後輩育成にも協力予定です。

また、土谷君は来年の全国大会にもエントリー可能（ラスト）であり、すでに次の挑戦が始まっています。

■ クリエイティブロボティクスコンテスト2025とは

本コンテストは、ヒューマンアカデミージュニアと、一般社団法人未来創生STREAM教育総合研究所（RISE）が共催する全国規模のロボティクス教育イベントです。

文部科学省が後援しており、「創造力・技術力・人間力」を育てる教育的意義が高く評価されています。

審査は、未来ロボット技術研究センター（fuRo）所長である古田貴之先生を中心に行われ、ロボット工学の最先端の視点から評価されます。

■ 古田 貴之（ふるた たかゆき）先生とは

日本を代表するロボット工学者で、千葉工業大学「未来ロボット技術研究センター（fuRo）」の所長を務める工学博士。

テレビでも取り上げられた「ロボットスーツHAL」の開発協力、自律移動ロボット、レスキューロボットなど、社会実装を見据えた研究を多数手がけています。

特に、東日本大震災後には、政府と東京電力の依頼を受け、廃炉作業に必要な環境調査ロボットを開発するなど、日本のロボット工学の最前線で活躍し続けています。

その古田先生から大絶賛された土谷君の技術は、子ども向けのレベルを大きく超えた、本物の工学的アプローチとして評価されました。

■ 最後に

今回の成果は、本人の努力はもちろん、ご家庭での支え・励ましがあってこそ実現したものです。

これからも西尾寺津教室はじめ、他5教室でも、子どもたちの“挑戦する力”と“執念（継続力）”を育てる場として全力で取り組んでまいります。

■ 動画案内

皿井の声入り臨場感たっぷりの動画です。音声は聞き取りづらいです。ヒューマノイドの動画もあり。

西尾寺津教室チャンネル

<https://youtube.com/channel/UCkCYlMRcUylaYMOS9Vathlw?si=M1PrQeBf3WaxlPeP>

原動画

<https://www.youtube.com/live/ud4IO75zTCY?si=qkuxmgpl2oCQ6JNE>

1回目 39:35～43:35

2回目 1:27:31～1:30:35

表彰式 7:32:10～7:34:10